



とっとり

公益財団法人
鳥取県国際交流財団
Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取県国際交流財団

国際通信

No.146
July, 2024

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鳥取国際通讯 · Bản tin quốc tế Tottori



表紙 Photo

令和5年度「みんなで交流in鳥取砂丘」(3/3)

A social for everyone at the Tottori Sand Dunes (3/3)

令和5年度“大家一起去交流in鸟取沙丘”(3/3)

Ngày 3 tháng 3 năm 2023 [Cùng giao lưu đồi cát tại Tottori]

目次 Contents / 目录 / Mục lục

● TPIEF だより

主な事業の開催状況

- 令和5年度「みんなで交流in鳥取砂丘」 02
- Tottori×Vermont高校生交流 これからのカタチ 03
- 財団の新しい仲間の紹介 03
- 外国出身コーディネーターの紹介 03
- 地域日本語教育総括コーディネーターよりお知らせ

● 特集 多文化共生サポーターについて 04

- JICAデスクよりお知らせ 04
- 「防災かるた」を活用した出前講座 (防災勉強会)を開始します! 05

- 鳥取県東部のごみ分別ルール (やさしい日本語)を紹介します 05

- 第36回タイムフェスティバル実行委員募集!

- よなご国際交流フェスティバル2024 ボランティア募集!

● 英語版・中国語版・ベトナム語版 06-07 ダイジェスト

Information in English, Chinese and Vietnamese
英文版・中文版文摘・越語版
Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt

- 賛助会員募集のご案内 08

- ワールドレシピ 08

主な事業の開催状況

TPIEF 令和5年度「みんなで交流in鳥取砂丘」

日にち:2024年3月3日(日) 場所:鳥取砂丘一帯

財団では、県内在住の外国出身者で構成される多文化共生ネットワーク委員の声を直接聴いて、事業へ反映させる「多文化共生ネットワーク連携事業」を行っています。今回は私たちが住んでいる土地の歴史について知る機会がほしいという意見から、鳥取市に焦点を当てた交流事業として「鳥取大学乾燥地研究センター」と「鳥取砂丘ビジターセンター」を訪れました。

当日は県内各地から、外国出身者67名が参加しました。鳥取大学乾燥地研究センターは日本で唯一の乾燥地教育研究機関ということもあり、乾燥地域で育つ珍しい植物が植えられ、研究されていることをガイドの方の説明を受けながら学びました。また鳥取砂丘ビジターセンターでは、工夫を凝らした展示や装置を通して砂丘の成り立ちやそこに生きる動植物のことを知ることができました。

当日はまだ少し肌寒さも残る中でしたが、屋内で「砂絵づくり」を楽しんだ後、砂丘へ出て記念写真を撮る等、交流を楽しむ参加者の姿が多く見られました。



▲乾燥地域の暮らしの知恵を知る



▲楽しかった砂絵の体験

- アンケート
- 鳥取砂丘のことをたくさん知ることができ、楽しい交流だった。
 - たくさんの国々の人と話ができて、良い時間を過ごすことができた。
 - 広い海が見られて子どもたちが嬉しそうだった。

Tottori×Vermont 高校生交流 これからのカタチ

鳥取県米国バーモント州青少年受入 主催:鳥取県 実施:鳥取県国際交流財団 期間:2024年4月21日(日)~4月29日(月・祝)

一週間で最大限の経験を…。重視したのは、共通点でつながること、同じ空間と時間を繰り返し体験すること。バーモントの高校生は、毎日ホームステイ先から拠点校の鳥取西高校へ通いました。西高での学校体験、市内探索、若桜町と岩美町での野外学習など、すべての活動で西高の生徒と行動を共にしました。市内散策の日は、鳥取商業高校の生徒も加わり、グループ別行動。ホームステイ先は高校生(または未来の高校生)のいる22家庭が全面協力。同世代の鳥取暮らしを満喫しました。

授業や日常生活でも自分の意見を言うことに慣れているバーモントの生徒の振る舞いに、鳥取の生徒は大いに刺激を受け、「言ってみよう」「やってみよう」と対話を重ね、自ら成長するきっかけとなりました。

また、オンライン交流を続けている生徒同士の再会も大切なポイントでした。ある生徒の共通点はバレーボール。学校やホストファミリーの協力を得て、滞在中の放課後はバレーボール三昧。すべてをつなげたのは、生徒たちの積極的な行動力。さまざまな接点は未知の可能性につながります。国際交流においても、主体的な行動は重要な要素です。まずは一歩を踏み出してみましょう。



英語の授業で意見交換



放課後はバレーボール



若桜駅の転車台

今回は、バーモント側の希望により、本事業と鳥取西高校主催のバーモントSTEM研修プログラムの参加者が同時期に来県し、同校と連携し合同で受入を実施しました。※STEMはScience, Technology, Engineering and Mathの頭文字をつなげたもの

〈訪問団データ〉 団体名:Green Across the World、鳥取県青少年交流:生徒8名、引率者2名、鳥取西高STEM研修:生徒6名、引率者1名

TPIEF 財団の新しい仲間の紹介



事務局長

横川 陽子

こんにちは!4月1日付けで事務局長となりました横川です。「国際交流」「多文化共生」という活気に満ちたテーマでお仕事をさせていただけることを、ありがたく感じています。

長いコロナ禍がようやく明けました。その間に私達は、人と人が実際に顔を合わせるの大切さを、身に染みて感じました。他国の文化を知り、相互理解することは、互いの人生を豊かにします。鳥取県に住む皆さんが、豊かな未来の扉を開ききっかけとなるお手伝いができれば、嬉しいです。

本所、倉吉、米子の各事務所では、国際色溢れる図書や言語教材の無料貸出も行っていきます。まずは、お気軽にお立ち寄りください。



倉吉事務所長
兼マネージャー

村上 隆史

新たに倉吉事務所長を拝命しました村上です。国際化が進む昨今、多様な文化への理解や諸外国との友好親善協力の重要性については日々耳目に触れるものの、私自身は国際交流の業務にはほぼ無縁でした。また、海外旅行も韓国・江原道に一度だけですが、異国の地で味わった不思議な感覚の数々は良い思い出です。

今回、現場業務に接し、海外との前向きなかわりを持つ方々のための充実した環境が身近にあることに、ある種の安心感を覚えたところです。私もこのような「世界に開かれ、世界に貢献する鳥取県づくり」に少しでも役立てるよう努めてまいります。

まずは1年間、どうぞよろしくお願いいたします。



国際交流推進員

上山 もも

今年度から新たに倉吉事務所の国際交流推進員となりました上山と申します。

私自身今まで国際交流を行った経験はありませんが、コロナ前のにぎわいが戻ってきたこと、これからは以前にも増して国際交流する機会が増えてくると思うので積極的に国際交流の経験を増やしていきたい、たくさんの方々の役に立てたらと思います。

初めてのことばかりで分からないことや至らない点も多くあると思いますが、少しでも多くのみなさまの生活のお手伝いができますよう精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



外国人相談窓口運営担当



藤本 宏一
総括マネージャー

4月から総括マネージャーとして、主に外国人相談窓口と多文化共生の推進を担当している、藤本(たでもと)と申します。

外国人の皆様が、この鳥取で、毎日安全・安心に生活できるよう、鳥取県や市町村、関係機関・団体の方々と一緒に、取組を充実させ、そのサービスを皆様にお届けする、その延長線上に「外国人の皆様が住みやすいまちランキング1位!」があると考えていますので、大きな目標を持って、毎日を大切に生活したいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

※鳥取駅すぐ近くの財団本所で勤務しています。ぜひお気軽に寄ってみてください。皆様と様々な場面で交流できることを楽しみにしています。

TPIEF 外国出身コーディネーターの対応時間

財団には、英語、中国語、ベトナム語を母語とする外国出身コーディネーターが在籍しています。県内に在住されている外国人の方の日常生活での困りごとについて多言語で相談を受け、場合によっては専門機関へつなげます。随時、Facebookでも情報提供しています。

本所	英語	月・水 13:30~17:30、金 14:30~17:30
	中国語	月・火 9:00~17:00
	ベトナム語	月~水・金 8:45~17:15
倉吉事務所	中国語	水 9:00~17:00
米子事務所	中国語	木 9:00~17:00
	ベトナム語	月・金 9:00~17:00
	ベトナム語	月・金(予約制)

※本所には、モンゴル語の外国出身スタッフが在籍しています。

TPIEF 地域日本語教育総括コーディネーターよりお知らせ

日本語教育を推進している地域日本語教育総括コーディネーターが、行政機関、団体など多文化共生に関心のある県民のみなさんを対象とした「やさしい日本語研修」を開催します。日程調整のうえ講師を派遣しますので、お気軽にご相談ください。

※申込多数の場合、年度途中で募集を終了するなどご希望に添えない場合もありますので、ご了承ください。

対応時間

〈本所〉月・金 8:45~17:15
〈倉吉〉火・木 8:45~17:15

多文化共生 サポーターについて



多文化共生サポーターとは？

鳥取県では、外国人住民の皆様が安心して生活できる多文化共生社会の実現のため、外国人住民の皆様が抱える問題を早期に発見し迅速かつ的確に対応することを目的に、外国人住民の皆様と自治体等との間に立って地域の橋渡し役を務めていただく「鳥取県多文化共生サポーター」を委嘱しています。

外国人住民の皆様からの生活に係る相談・要望は年々多様化しているため、1人でも多くの方にサポーターとして、当財団と一緒に活動いただきたいです。委嘱基準等の詳細は、とりネットから確認いただくか、鳥取県交流推進課にお問い合わせください。

詳しくはこちらから！



＜お問い合わせ先＞ 鳥取県交流推進課 0857-26-7595

多文化共生サポーターの紹介



① 多言語国際交流サポートTIA(鳥取市)

外国出身の方々の生活面での相談に対しサポート活動を行なっています。特に特定の団体に所属しておらず孤立しがちな外国人の方々を招いて、折り紙で工作したり生活面での困りごとを話してもらう茶話会を開催しています。

② タイム(とっとり国際交流連絡会)(鳥取市)

年2回の留学生支援バザーや多文化理解セミナーの実施が恒例行事です。サポーター活動としては、留学生や地域に住んでいる外国人の方に対し、地域情報等の提供や生活相談のサポート等を行っています。

③ Toriフレンドnetwork(倉吉市)

倉吉市主催「日本語学習会」において受講生や関係者との交流、相談、サポートなどで協力しており、その教室の中で相談を受けることが多くあります。また、外国人住民からの相談サポートも行っています。

④ 伊藤 信広さん(米子市)

主にALT(外国語指導助手)やCIR(国際交流員)の友人のケアをしており、医療機関での問診票についてのサポートを行いました。防災、熱中症、プレミアムポイント、地域交流体験イベント情報提供が好評です。

⑤ にほんごがくしゅうかい(鳥取市)

やさしい日本語によるFacebookでの情報発信や様々な相談を受け付けています。情報発信では医療、教育、レクリエーションの話題が多いです。生活やキャリアに関する悩み相談も受け付けており、関係各所に繋いでいます。

⑥ LEE JIA XIANさん(米子市)

留学生が日本の生活に困らないよう、日本語書類を翻訳、記入や提出の方法を教えたり、市役所や銀行、病院に同行し、通訳等の手続きを行っています。また、災害情報や留学生生活充実のためのイベント情報を提供しています。

⑦ 松川 由依さん(米子市)

留学生や在住外国人からの仕事や日常生活、各種行政手続きに係る多様な相談に対応しています。日本語通訳や翻訳も行っています。また、防災や行政手続き、地域住民との交流イベント等の情報を提供しています。

⑧ 日本中国友好協会米子支部(米子市)

主に中華圏ネットワークの方々の生活相談や自治体等からの情報の伝達、交流事業等への参加呼び掛けなどを行っています。自治体等の国際交流員の方々と連携し、外国人の方々が住みやすい社会を作りたいです。

JICA

デスクより
お知らせ

中学生・高校生エッセイコンテスト募集中！

今年のテーマは「未来の地球のために～私たちにできること～」です。現在の地球は、紛争や、感染症、自然災害、食料価格の高騰など、様々な危機が次々に押し寄せる時代となっています。遠く離れた国の課題が、回りまわって私たちの生活に影響を及ぼすこともあり、みなさんも授業やTV／新聞／SNS等から学んだり感じてきたと思います。身近なところから考えて、未来の地球のために私たちにできることを言葉にしてみませんか？たくさんのご応募、お待ちしております！

JICA 国際協力中学生・高校生
エッセイコンテスト
2024

未来の地球のために
～私たちにできること～

6/7. 9/18.

＜応募期間＞ 2024年6月7日から9月18日 ＊郵送だけではなく、Webでの申し込みも受け付けております！

お問い合わせ 鳥取県JICAデスク(担当:首藤) 〒680-0846 鳥取市扇町21 鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)3階

TEL : 0857-51-1165 FAX : 0857-51-1175 Eメール : jicadpd-desk-tottoriken@jica.go.jp

f facebook : <https://www.facebook.com/jica.tottori/>